

- 問1 衆議院の比例代表制に関するルールとして、参議院の比例代表制と比較して正しいものはどれですか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)

1. 全国を11のブロックに分けて、それぞれの単位で政党の得票数に基づいて議席を配分する

2. 小選挙区で立候補している候補者が、比例代表の名簿に重複して登録されることは禁止されている

3. あらかじめ政党内で当選順位を決めない「非拘束名簿式」が採用されている

4. 有権者は政党名だけでなく、候補者の個人名を記入して投票することも認められている
- 問2 衆議院や参議院の比例代表制において、各政党の得票数に応じて議席を割り当てるために採用されている「ドント方式」の計算手順として正しいものはどれですか。 (2026年 滋賀県公立入試 類似)

1. 各政党の得票数を1、2、3…と順に整数で割り、その値（商）が大きい順に議席を配分する。

2. 各政党の得票数から一定の基準票数を引き、残った票数が多い順に議席を配分する。

3. 各政党の得票数を全政党の総得票数で割り、得られた割合に議席定数を乗じて小数点以下を四捨五入する。

4. 各政党の得票数を1、3、5…と順に奇数で割り、その値（商）が大きい順に議席を配分する。
- 問3 三権分立の考え方にに基づき、日本における「立法」の仕組みについて述べた文章として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)

1. 選挙は国民の義務であるため、棄権者が多い場合は国会での立法行為は一時停止される。

2. 迅速な政治判断を行うため、内閣が法律の内容を最終決定し、国民に義務を課す。

3. 主権者である国民から選挙で選ばれた代表者が、唯一の立法機関である国会で法律を制定する。

4. 司法の独立を守るため、最高裁判所が作成した法律の草案を国会が形式的に承認する。
- 問4 日本の衆議院議員選挙では、小選挙区制と比例代表制を組み合わせた「小選挙区比例代表並立制」が導入されています。小選挙区制だけでなく比例代表制をあわせて実施している理由として、最も適切なものはどれですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)

1. 候補者個人の地名や人気に左右されず、政党の政策のみで全ての議席を決定するため。

2. 小選挙区制で発生しやすい多くの死票を補い、政党の得票率を議席数に反映させやすくするため。

3. 二大政党制を確立させ、特定の有力な政党が常に安定して政権を維持できるようにするため。

4. 1つの選挙区から複数の代表を選ぶことで、選挙管理にかかる事務的な負担や費用を減らすため。
- 問5 日本国憲法第14条の「法の下での平等」の精神に基づき、選挙制度において採用されている「一人一票」の原則の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2017年 長崎県公立入試 類似)

1. 一定の年齢に達したすべての国民に、納税額に関係なく選挙権を与えること

2. 誰がどの候補者に投票したのか、他人に知られないように無記名で投票すること

3. 有権者の間での票の価値に差をつけず、一人ひとりが持つ票の重みを均等に扱うこと

4. 代表者を間接的な形ではなく、有権者が自ら投票によって直接的に選出すること
- 問6 参議院議員選挙などで採用されている比例代表制の特徴について、その仕組みや利点を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 大分県公立入試 類似)

1. 全国を細かな選挙区に分割することで、候補者と有権者の結びつきを強め、地域固有の課題を解決しやすくする。

2. 政党の得票数（得票率）に応じて議席を配分するため、小選挙区制に比べて死票が少なく、少数派の意見も政治に反映されやすい。

3. 候補者個人への投票のみを受け付け、政党名は考慮せずに得票順で当選者を決定する。

4. 各選挙区で最も得票の多い1名のみが当選するため、大きな政党が有利になり、政局が安定しやすい。
- 問7 選挙権年齢を十八歳以上に引き下げた主な背景や目的として、最も適切な説明はどれですか。若者の政治への関わり方に注目して選びなさい。 (2023年 長崎県公立入試 類似)

1. 少子高齢化が進む中で、若者の声をより早く政治に反映させ、政治への関心を高めることで若者の政治参加を促すため

2. 選挙権と同時に被選挙権の年齢も十八歳に引き下げることで、高校生や大学生の国会議員を誕生させるため

3. インターネット投票を導入する前提条件として、情報リテラシーの高い若い世代の有権者を増やす必要があったため

4. 高齢者の投票率が非常に高いため、若者の投票人数を増やすことで選挙にかかる総費用を削減するため
- 問8 日本の選挙における20歳から29歳の層（若年層）の投票動向について、60歳から69歳の層と比較して説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2019年 茨城県公立入試 類似)

1. 有権者数も投票率も、高齢者層とほぼ同程度である。

2. 有権者数自体が少なく、かつ投票率も低い傾向にある。

3. 有権者数は少ないが、主権者教育の影響で投票率は高い。

4. 有権者数は多いが、政治への関心が低いため投票率は低い。
- 問9 比例代表制において、ドント式のような複雑な計算を用いて議席を配分する主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 兵庫県公立入試 類似)

1. 死票を減らし、各政党の得票率と議席率をできるだけ一致させるため

2. 得票数の少ない政党を排除し、議会での合意形成をスムーズにするため

3. 特定の候補者個人の人気を、直接的に当選へ結びつけるため

4. 二大政党制を促進し、政権運営の安定性を高めるため
- 問10 日本の選挙制度の一つである比例代表制の仕組みについて説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2016年 岡山県公立入試 類似)

1. 政党への投票を認めず、候補者個人の実績や政策に対する得票数のみで議席を決定する制度。

2. 一つの選挙区から一人の代表者のみを選出することで、特定の政党が安定した過半数を確保しやすくする制度。

3. 各政党の得票数に応じて議席を配分することで、死票を減らし、少数政党でも議席を獲得しやすくする制度。

4. 候補者の得票数に関わらず、あらかじめ決められた地域ごとに均等な議席数を各政党へ割り振る制度。
- 問11 日本の衆議院比例代表選挙などで採用されている「ドント式」と呼ばれる議席配分の計算方法として正しい説明を選びなさい。 (2022年 新潟県公立入試 類似)

1. 各政党の得票数を、1、2、3といった自然数で順に割り、その結果得られた「商」の大きい順に議席を割り当てる。

2. 各政党の得票数をその選挙区の全政党の総得票数で割り、その割合に定数を掛けた数値の整数部分を議席とする。

3. 各政党の得票数を、1、3、5といった奇数で順に割り、その結果得られた「商」の大きい順に議席を割り当てる。

4. 小選挙区で最も得票数の多かった候補者の政党に、その選挙区に割り振られたすべての議席を与える。
- 問12 衆議院議員選挙において、1つの選挙区から最も得票の多い1名のみが当選する「小選挙区制」を導入する主な目的や利点として、最も適切な説明を選びなさい。 (2023年 徳島県公立入試 類似)

1. 政党名で投票を行うことで、候補者個人の知名度に左右されない選挙を行うため。

2. 死票をできるだけ減らし、少数意見を議会に反映させやすくするため。

3. 二大政党制になりやすく、特定の政党が過半数を得ることで政権を安定させるため。

4. 一つの選挙区から複数の当選者を出すことで、同じ政党内の競争を促すため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 全国を11のブロックに分けて、それぞれの単位で政党の得票数に基づいて議席を配分する	衆議院の比例代表制は、全国を北海道、東北、東京、近畿など11のブロックに分割して実施されます。また、参議院の比例代表（非拘束名簿式）とは異なり、政党が事前に当選順位を決める「拘束名簿式」が基本です。さらに、小選挙区と比例代表の双方に同時に立候補する「重複立候補」が認められている点も、衆議院議員選挙の大きな特徴です。
問2	答え 1 各政党の得票数を1、2、3…と順に整数で割り、その値（商）が大きい順に議席を配分する。	ドント方式は、ベルギーの法学者ドントが考案した議席配分方法です。比例代表制において、各政党の得票数を1、2、3、4…という正の整数で順番に割り算し、その計算結果（商）をすべての政党と比較して、数値が大きい順に定数に達するまで議席を割り振る仕組みとなっています。これにより、政党の得票比率をできるだけ正確に議席数に反映させることができます。
問3	答え 3 主権者である国民から選挙で選ばれた代表者が、唯一の立法機関である国会で法律を制定する。	日本国憲法第41条において、国会は「国の唯一の立法機関」と定められています。これは、国民の権利や義務に関わる「法律」というルールは、主権者の意思を直接反映できる、選挙で選ばれた代表者によって作られるべきだという原則（民主主義）に基づいています。内閣は法律案を提出することはできますが、成立させる権限は国会にあります。また、日本の選挙は自由投票であり、義務ではありません。
問4	答え 2 小選挙区制で発生しやすい多くの死票を補い、政党の得票率を議席数に反映させやすくするため。	小選挙区制は、大きな政党が議席を得やすく政権が安定するという利点がある一方で、多くの死票が出てしまい、少数派の意見が無視されやすいという欠点があります。これに対して、政党の得票数に応じて議席を配分する比例代表制を並行して行うことで、死票を減らし、より多様な民意を議会に届けることを目的としています。
問5	答え 3 有権者の間での票の価値に差をつけず、一人ひとりが持つ票の重みを均等に扱うこと	平等選挙の原則は、単に票の数だけでなく、その「価値」が等しいことを求めています。かつての制限選挙の時代には、性別や納税額によって選挙権が制限されるだけでなく、特定の身分の者に複数の票を認めるような不平等な制度も存在しました。現代の日本では「一票の格差」を是正するために、定数の是正や選挙区の区割り変更など、一人一票の価値を等しく保つための努力が続けられています。他の選択肢はそれぞれ「普通選挙」「直接選挙」「秘密選挙」の説明に該当します。
問6	答え 2 政党の得票数（得票率）に応じて議席を配分するため、小選挙区制に比べて死票が少なく、少数派の意見も政治に反映されやすい。	比例代表制は、各政党の得票数に応じた議席配分を行うため、小選挙区制のように「当選者以外に投じられた票がすべて無効（死票）になる」という現象を抑えることができます。これにより、多様な政党が議席を得るチャンスが生まれ、国民の多角的な意見を国政に届けることが可能になります。
問7	答え 1 少子高齢化が進む中で、若者の声をより早く政治に反映させ、政治への関心を高めることで若者の政治参加を促すため	少子高齢化が進行する日本において、年金や社会保障などの将来に関わる重要な課題について、若い世代が意思決定に加わることが求められました。十八歳から投票可能にすることで、主権者としての自覚を早期に促し、若者の政治参加を活性化させる狙いがあります。なお、被選挙権についてはこの改正では引き下げられていません。
問8	答え 2 有権者数自体が少なく、かつ投票率も低い傾向にある。	少子高齢化が進む現在の日本では、人口構成において若年層の有権者数が高齢者層に比べて少なくなっています。それに加え、実際の選挙における投票率も20代は全世代の中で最も低い水準にあるため、選挙結果に対する若者の影響力が相対的に小さくなっています。
問9	答え 1 死票を減らし、各政党の得票率と議席率をできるだけ一致させるため	選挙において、当選者に投じられた票以外は「死票」と呼ばれ、政治に反映されない票となります。小選挙区制ではこの死票が多くなりがちですが、比例代表制でドント式のような配分方法を採用することで、得票数に応じた議席配分が可能になります。これにより、少数派の意見を切り捨てることなく議会に届け、有権者の多様な意思を政治に反映させることができるようになります。これは、現代民主主義における「国民の代表」という議会の役割を支える重要な仕組みです。
問10	答え 3 各政党の得票数に応じて議席を配分することで、死票を減らし、少数政党でも議席を獲得しやすくする制度。	比例代表制は、各政党が獲得した得票数に基づいて議席を配分する仕組みです。得票数に達しない候補者に投じられた「死票」が多くなりがちな小選挙区制に対し、比例代表制は得票率を議席数に反映させやすいため、多様な民意や少数政党の意見を国政に届けやすいという特徴があります。
問11	答え 1 各政党の得票数を、1、2、3といった自然数で順に割り、その結果得られた「商」の大きい順に議席を割り当てる。	比例代表制において、各政党の得票数に応じた議席配分を決定する仕組みの一つです。各政党の得票数を1、2、3、4……と自然数で割っていき、算出された「商（割り算の答え）」を全政党と比較して、数値の大きい順に定数に達するまで議席を振り分けていきます。これにより、得票数に比較的忠実な議席配分が可能になります。
問12	答え 3 二大政党制になりやすく、特定の政党が過半数を得ることで政権を安定させるため。	小選挙区制は当選者が一人のため、第一党以外の候補者に投じられた票が「死票」になりやすいという欠点があります。しかし、有力な候補者を擁する大きな政党に有利に働くため、政権交代が可能な二大政党制を促進し、議会で安定した多数派を形成しやすいという政治的な安定性を狙いとしています。この短所を補うために、得票数に応じて議席を分配する比例代表制が併用されています。